（別添12-３）　　H３１

横浜市経済変動対応資金（新型コロナウイルス）資格申告書

年　　月　　日

（申告先）
横浜市信用保証協会会長

（申告者）所 在 地
（市内支店等）
企 業 名（屋号）
代表者名　　実印

横浜市経済変動対応資金（融資対象者３・４）の融資申込にあたり、融資申込有資格者として申告します。

1　新型コロナウイルスの影響による純売上高 又は 売上高総利益率の減少の事情

2　売上高、利益率の減少　（1）又は（2）のいずれかを記載してください。

（1）最近１か月の売上高の推移等**（５%以上の純売上高減少が要件）**

最近１か月の純売上高	前年同月（又は２年前若しくは３年前）の純売上高	売上の減少率 (②－①) ÷②×100
年　　月	年　　月	
①　　千円	②　　千円	% (少数点第２位を四捨五入)

（2）最近１か月の売上高総利益率の推移**（５%以上の売上高総利益率減少が要件）**

最近１か月の売上高総利益率	前年同月（又は２年前若しくは３年前）の売上高総利益率	利益率の減少率 (②－①) ÷②×100
年　　月	年　　月	
売上総利益（A）　　千円	売上総利益（C）　　千円	
売　上　高（B）　　千円	売　上　高（D）　　千円	%
①（A）÷（B）×100＝　　% (少数点第２位を四捨五入)	②（C）÷（D）×100＝　　% (少数点第２位を四捨五入)	(少数点第２位を四捨五入)

＊ 対象月の月別試算表（損益計算書）を添付してください。
＊ ２（1）又は（2）の最近１か月とは、申告月の前月 又は 申告月の前々月です。

（例）２月に申告　1月 又は 12月

【取扱金融機関使用欄】

上記の者は本資金の要件に該当することを確認しました。

年　　月　　日

取扱金融機関名・支店名	印
担当者氏名・連絡先	

売 上 高 明 細 内 訳 書（売上高の減少）

（　　年　　月分）

◎　試算表（損益計算書）を提出できない場合、この様式に記入すること。
◎　記入方法
・原則、売上台帳の内容を転記すること。
・月ごとの商品別・相手先別での記入も可とする。

申　請　者　名		
月	売上額（単位：千円）	販売先・受注先・商品等
	合計（純売上高）	

◎　試算表（損益計算書を提出できない理由）（該当事項に○）

・在庫の管理を毎月は行っていない等で、売上の管理はしているが試算表を月別に作成できない。

・試算表の作成が、融資を受けたい時期に間に合わない。

・その他（　　）

売 上 高 及 び 売 上 原 価 内 訳 書（利益率の減少）

（　　年　　月分）

◎　試算表（損益計算書）を提出できない場合、この様式に記入すること。
◎　記入方法
・原則、売上台帳・仕入台帳等の内容を転記すること。
・商品別・相手先別での記入も可とする。
・最近１月分と比較月分の２枚を作成すること。

申　請　者　名		
月	売上高（単位：千円）	販売先・商品等
	売上高合計	
月	売上原価（仕入額） （単位：千円）	仕入先・商品等
	売上原価合計	

◎　試算表（損益計算書を提出できない理由）（該当事項に○）

・在庫の管理を毎月は行っていない等で、仕入の管理はしているが試算表を月別に作成できない。

・試算表の作成が、融資を受けたい時期に間に合わない。

・その他（　　）